

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年03月04日

計画の名称	中心市街地活性化のための街なか居住の推進と賑わいの創出												
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	山形市												
計画の目標	<p>山形市の商業・文化の中心地である七日町地区は、郊外や仙台への消費の流出、空き地・空き店舗が目立つなど商業の吸引力が低下している。</p> <p>歴史・文化的資源を活かして中心市街地を活性化することは山形市の重点政策であり、平成26年には中心市街地活性化基本計画（第2期）を策定し、「街なか回遊・街なか居住・イベントによる賑わいの創出」「特色ある商業の振興」「山形の歴史・文化資源を活かした街なか観光の推進」を基本方針に、行政、地元が一体となった取り組みを進めている。</p> <p>このような中、再開発事業による都市機能の更新、先行して整備した御殿堰を活用した魅力ある都市空間の整備と街なか居住による賑わいの創出・商業機能の強化等を推進し、快適で魅力ある中心市街地の再生を目指す。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	5,692	A	5,692	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初		H32末
1	中心市街地における歩行者自転車通行者数を14,916人／日（H27）から20,700人／日（H32）に増加 七日町大通り（6地点）における休日の歩行者・自転車通行者数を測定する。	14916人／日	人／日	20700人／日
2	中心市街地の居住人口を8,699人（H28.1）から8,742人（H33.1）に増加 中心市街地の居住人口を調査する。	8699人	人	8742人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

山形市にて事業効果の検証及び数値目標の達成状況を検証した。

事後評価の実施時期

令和3年度

公表の方法

山形市公式ホームページに掲載。

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

歩行者・自転車通行者数については、目標値設定時点で予測不能な事象が発生した影響により、目標値を大幅に下回る結果となった。しかしながら、測定地点によっては通行者数が増加に転じている箇所が存在したため、限定的ではあるが効果が見られた。
。中心市街地の居住人口についても、目標値を下回る結果となったが、七日町第5ブロック南地区が所在する七日町二丁目では居住人口が大幅に増加しており、大きな効果が見られた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

歩行者・自転車通行者数について、事業効果を確認する観点から、引き続き推移を確かめていきたい。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	歩行者・自転車通行者数	
	最終目標値	20700人／日
	最終実績値	13056人／日
2	中心市街地の居住人口	
	最終目標値	8742人
	最終実績値	8697人